

② 事業名 たけのこ栽培

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
毎水・土曜日 9時から12時	長岡京市 長法稲荷神社隣接竹林	約700人	95名(新居浜・枚方・エコグループ)	174
事業内容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承</p> <p>【内容】 一連の作業(新竹のシンドメ・下草刈・肥料撒き・ワラ敷き・土入れ)を実施してきたが、異常気象(高温継続・雨不足)・竹の葉異常等で、初堀が例年より約2週間遅れ成長も悪かった。しかし4月中旬以後は持ち直し通年の8割程度の作柄となった。 収穫したタケノコ(1127kg)は会員・エコツアー体験者等に頒布した。</p> <p>【活動の成果と課題】 会員に安価でタケノコを頒布出来たが、年々高齢化していく中での作業(土入れの運搬作業)の負担が大きい。会員の若返り、栽培方法の体験受入れ、機械化の必要性も検討が急務である。</p>			

③ 事業名 竹工芸

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
農閑期 6~9月、1~3月 の水、土曜日	長岡京市 長法稲荷神社隣接竹林	延べ50人	展示会に来場の一般の市民(販売は無し) 約400人	6千円 (震災支援物資輸送費含む)
事業内容	<p>【目的】 主に竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作および作品展示を通じ、竹の新しい文化を創造する。</p> <p>【内容】 主に竹林の農閑期を利用して定期活動日に会員有志で活動。 本年度は京都府主催「地域力文化祭/みやこメッセ」(10月3日)と「竹まつり」(3月27~28日)、竹の学校主催の「竹まつり」(10月16日)に作品約20点を展示した。また、東日本大震災の支援物資として竹箒を50本製作し、さらに緑の協会に20本提供した。</p> <p>【活動の成果と課題】 たまたまプロの方が会員のため、作品のレベルが高く、展示会での注目度大。竹の学校の活動と、伐採竹を活用する竹の文化活動の広報に貢献できた。 農閑期と不定期な活動のため、会員以外に竹工芸のみの参加希望者を受け入れていない。当面、竹林整備作業にも関心を持ってくれる希望者に絞らざるを得ない。 一般参加と竹林整備との両立ができる体制が必要。</p>			